



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入学共通テストの本試験、追試験・再試験の正解及び配点については、各日の全試験終了後に、その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入学共通テストの平均点等については、中間発表を令和7年1月22日(水)（予定）に、最終発表を2月6日(木)（予定）に、いずれも大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行います。

2 得点の調整

得点調整は、(2)の対象教科・科目について、(3)の実施条件を満たした場合、(4)の方法により実施します。

(1) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無は、令和7年1月24日(金)（予定）に発表します。得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 得点調整の対象教科・科目

大学入学共通テストの本試験における、得点調整実施の対象教科・科目は、次の①～⑥の各科目間とします。

- ① 地理歴史の『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』の間
- ② 公民の『公共、倫理』『公共、政治・経済』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』の間
- ③ 数学①の『数学I、数学A』と『旧数学I・旧数学A』の間
- ④ 数学②の『数学II、数学B、数学C』と『旧数学II・旧数学B』の間
- ⑤ 理科の『物理』『化学』『生物』『地学』の間
- ⑥ 情報の『情報I』と『旧情報』の間

ただし、①～⑤については、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません（⑥の『情報I』と『旧情報』の間については、いずれかの受験者数が1万人未満であっても得点調整の対象とします。）。

(3) 得点調整の実施条件

得点調整の実施の対象となった各科目間で、次のいずれかが生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- ・20点以上の平均点差が生じた場合
- ・15点以上の平均点差が生じ、かつ、段階表示の区分点差（注）が20点以上生じた場合

（注）ここでいう区分点差とは、各科目の成績の段階表示（スタナイン）（→p.57）の各段階の境目となる、上から4%、11%、23%、40%、60%、77%、89%、96%の分位点（得点）の差を指します。

(4) 得点調整の方法

得点調整は、「分位点差縮小法」（注1）という方式を用いて、次のア、イを満たすように行います。

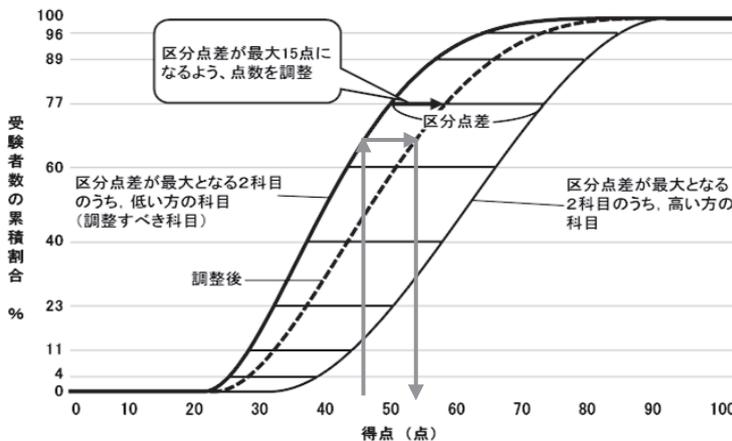
- ア 各科目の元の点数を下げないこと。(注2)
- イ 各科目間の平均点の順序を保つこと。(注3)

また、得点が加算される科目の受験者と加算されない科目の受験者間での公平性の観点から、区分点差の全てを調整するのではなく、調整後も区分点差の最も大きいところが15点となるようにします。

(注1) 「分位点差縮小法」とは、分位点差を一定の比率で縮小する方式です。「分位点差」とは、得点調整の対象となる科目の受験者数の累積割合(%)が等しいところの分位点(得点)の差のことです。

なお、(3)で得点調整の実施条件として示されている「区分点差」は、「分位点差」のうち、各科目の成績の段階表示(スタナイン) (→p.57)の各段階の境目となる、上から4%、11%、23%、40%、60%、77%、89%、96%の分位点(得点)の差を指しています。

(注2) 各科目の元の点数を下げないように、得点調整に当たっては、区分点差が最大となる2科目のうち、区分点が低い方の科目の累積分布を高い方の科目に寄せ、区分点が低い方の科目の得点を加算します(【図】参照)。また、区分点差が最大となる2科目以外の科目についても、区分点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。



【図】分位点差縮小法

この方式により、区分点差が最大となる2科目のうち、区分点が低い方の科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

(注3) 区分点差の最も大きいところが15点となるようにした際に、各科目間の平均点の順序が調整前から入れ替わる場合は、順序が入れ替わらない範囲で調整することとします。その結果、区分点差が15点以上に止まる場合もあります。

3 段階表示

(1) 段階表示について

段階表示は、各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価(方法)に活用できるよう、科目別得点に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すものです。

なお、試験成績としては「科目別得点」における1から9の9段階として表示します。

(2) 換算表の発表

科目別得点等における段階表示の換算表については、令和7年1月24日(金)(予定)に、大学入試センターのホームページ(→裏表紙)で発表します。

(3) 段階表示の方法

① 「科目別得点」を、「スタナイン(Stanine)」(注)という方式を用いて、9段階に換算します。

② 段階表示は、「科目別得点」に対して行います。

※ 「地理歴史、公民」の『地理総合/歴史総合/公共』については、科目別得点(選択した出題範囲の合計点)の段階表示に加え、出題範囲別(「地理総合」「歴史総合」「公共」)に段階表示を行います。

※ 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』については、科目別得点(選択した出題範囲の合計点)の段階表示に加え、出題範囲別(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)に段階表示を行います。

※ 『英語』についてはリーディング、リスニング別に段階表示を行います。

- ③ 『国語』の出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文，漢文）」）の得点については，段階表示は行いません。
- ④ 「地理歴史，公民」で2科目を受験した者又は「理科」で2科目を受験した者については，第1解答科目，第2解答科目の合計点の段階表示は行いません。

(4) **各大学での活用方法について**

各大学においては，入学者選抜を行うに当たって，段階表示を利用して入学者選抜を行うことがありますが，利用の有無や，利用される場合の具体的な方法については，各大学の募集要項等を確認してください。

(注) 「スタナイン (Stanine)」とは，分位点による区分法の一つであり，受験者を得点順におおよそ 4, 7, 12, 17, 20, 17, 12, 7, 4%の群に分割し，科目別得点を得点の低い方から順に 1 から 9 の 9 段階に換算する方式です。

4 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは，大学入学共通テストを利用する各大学からの請求に基づき，当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」）を，請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については，大学入学共通テスト出願前までに，各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 『国語』の特定分野を利用する大学へは，『国語』の得点及び段階表示とは別に^F出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文，漢文）」）の得点も提供します。
- (3) 「地理歴史，公民」で2科目を受験した場合又は「理科」で2科目を受験した場合は，大学からの請求に基づき「第1解答科目，第2解答科目別の得点，その合計点及び第1解答科目，第2解答科目別の段階表示」又は「第1解答科目の得点及び段階表示」のいずれかを提供します。
 なお，大学が1科目のみの得点を利用する場合には，**第1解答科目の得点及び段階表示を優先して利用**することがありますので，必ず，志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 『地理総合／歴史総合／公共』を受験した者については，科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え，出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の得点及び段階表示を提供します。
- (5) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験した者については，科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え，出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の得点及び段階表示を提供します。
- (6) 『英語』の成績については，リーディング，リスニング別の得点及び段階表示を提供します。
- (7) 大学入学共通テストを利用する各大学の教科・科目の指定と，指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると，下表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
「国語」「外国語」の2教科から1教科選択	当該大学の入学志願者が「国語」「外国語」を受験した場合，この2教科の得点及び段階表示
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』の5科目から1科目選択	当該大学の入学志願者が「理科」で2科目を受験した場合，第1解答科目として『物理』を，第2解答科目として『化学』を解答していれば，大学からの請求に基づき，これら2科目の得点，合計点及びこれら2科目の段階表示又は第1解答科目の『物理』の得点及び段階表示のいずれか